

実現に向けたコンパクトシティの取り組み

ウェルネスシティ信州小諸

- 自分らしく居られるまち、自分に還れるまち -

小諸市長 小泉 俊博



<目次>

- 1 小諸市の紹介
- 2 小諸市の課題、移りゆく社会
- 3 小諸版ウェルネスシティとは何か
- 4 ハードインフラの整備
- 5 ハードインフラとソフトインフラの相乗効果
- 6 行政の企業誘致の取り組み
- 7 産官学協働の取り組み
- 8 民間の創業支援・移住促進の取り組み
- 9 顕著に表れる取り組みの成果
- 10 ウェルビーイングの達成と広域への視点

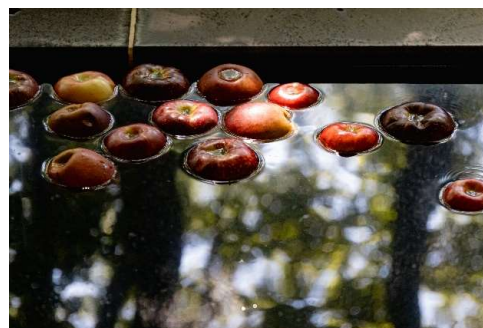
1. 小諸市の紹介



ウェルネスシティ 信州小諸

自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち

こんなに**たくさん**の**“お宝”**があります！



東京から電車で90分
自動車で150分

小諸市は、長野県の東部に位置し、北に浅間山、南西部に千曲川が流れる自然豊かなまちです。小諸市の標高は約600メートル～2,000メートルと高地に位置し、年間を通じて雨の日が少なく、国内でも屈指の晴天率を誇ります。
人口：40,788人（2022.1.1現在）

2. 小諸市の課題、移りゆく社会



ウェルネスシティ 信州小諸

— 自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち —

人口的課題

2020年

40,850人

将来推計
20年後

2040年

32,624人

人口約**20%減**

社会インフラ
公共サービスの維持が困難

小諸市や市民の意識的課題

課題①

多くのお宝（観光資源・伝統文化・地理的長所など）があるのに、それを十分に活かさきれていない。

課題②

市民がお宝を十分に知らない。

課題③

小諸市や市民であることに誇りが持てない。

小諸に**元気と誇り**をとりもどす
新たな視点に触れ
市民の**意識改革**が必要

移りゆく社会

新型コロナウイルス感染症は
“人々の意識の変革、と
“社会構造の大転換、を
もたらした。

1. パンデミック時の
「大都市の脆弱性」
が判明
2. サードプレイスの
重要性が上昇
3. デジタル社会や
地方創生の加速＝
自治体間競争の激化

時代とニーズにあった**小諸版ウェルネスシティ**により**ウェルビーイング**を目指す。

3. 小諸版ウェルネスシティとは何か

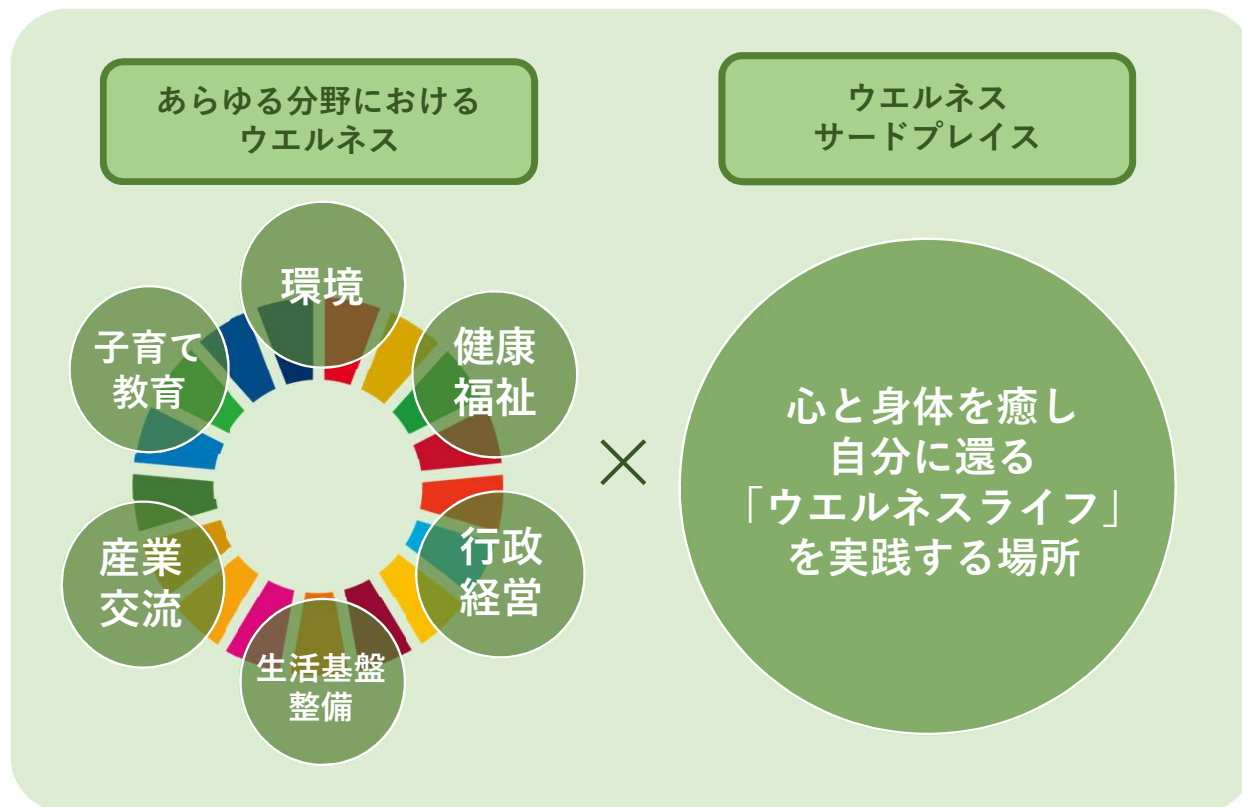


ウェルネスシティ 信州小諸

自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち

ウェルネスシティ信州こもろ

“自分に還る場所” “何度でも帰りたい”
“住みたい” “住み続けたい”



ウェルビーイング

肉体的・精神的・
社会的に
満たされた状態

幸福

自己実現の達成

ウェルネスシティ信州こもろにより
すべての市民の

ウェルビーイングを目指していく

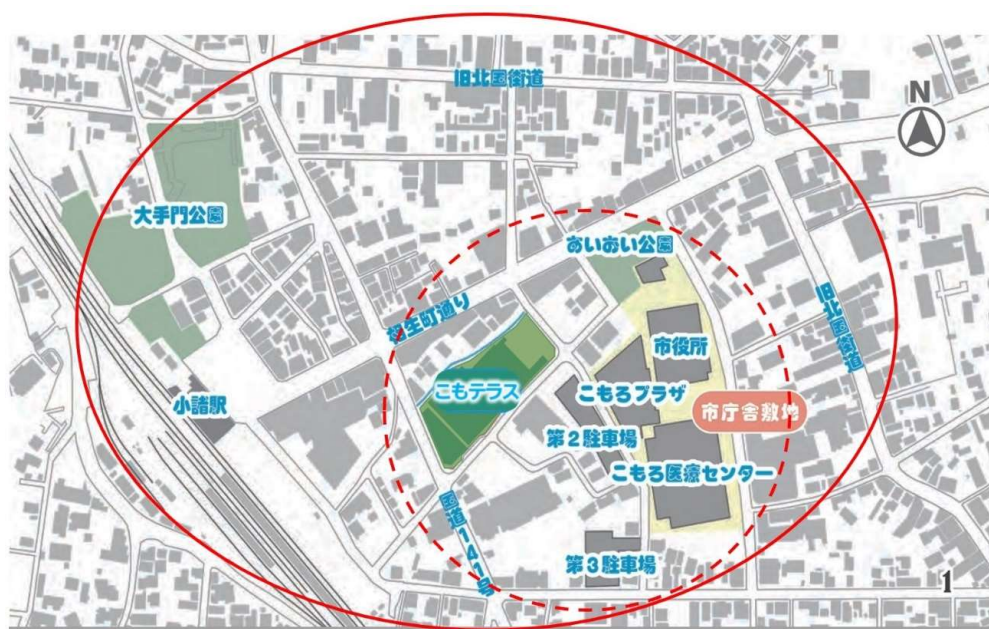
4. ハードインフラの整備



ウェルネスシティ 信州小諸

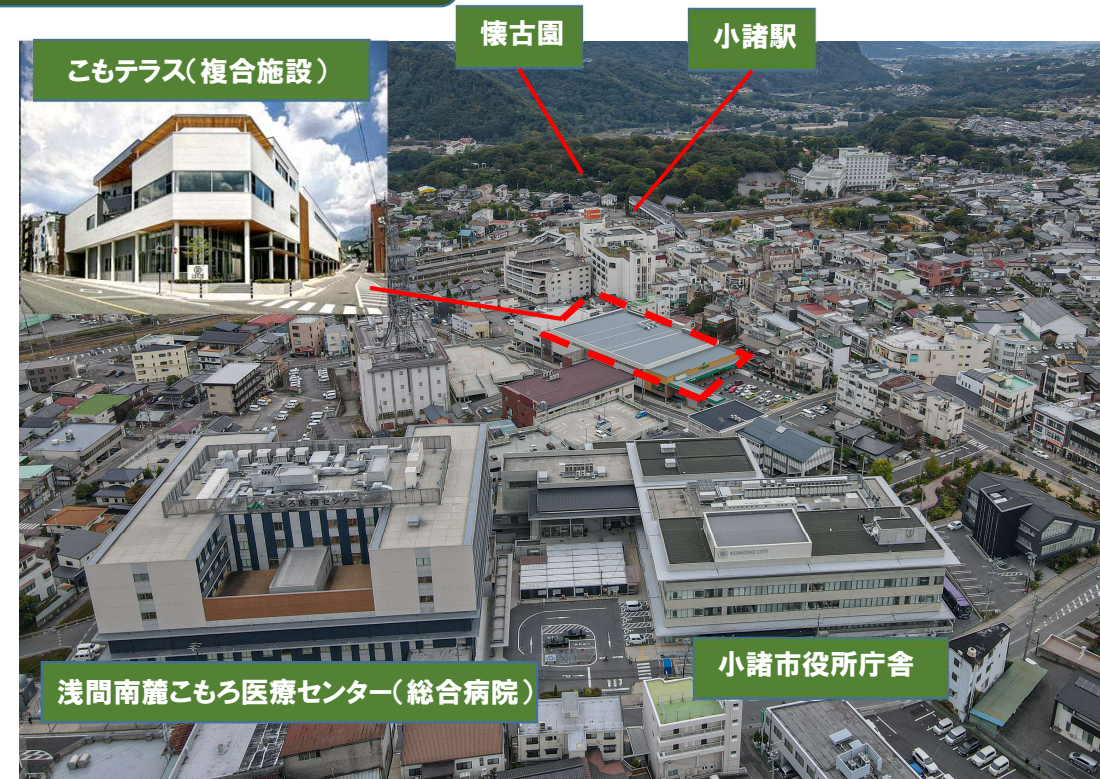
自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち

ネットワーク型 コンパクトシティ



コンパクトシティ→住まいと生活機能が近接している効率的な都市

小諸市は国交省が推進している「地方都市リノベーション事業」の第1号認定

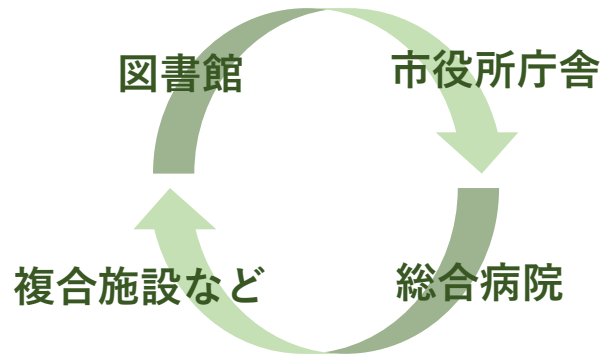


5. ハードインフラとソフトインフラの相乗効果



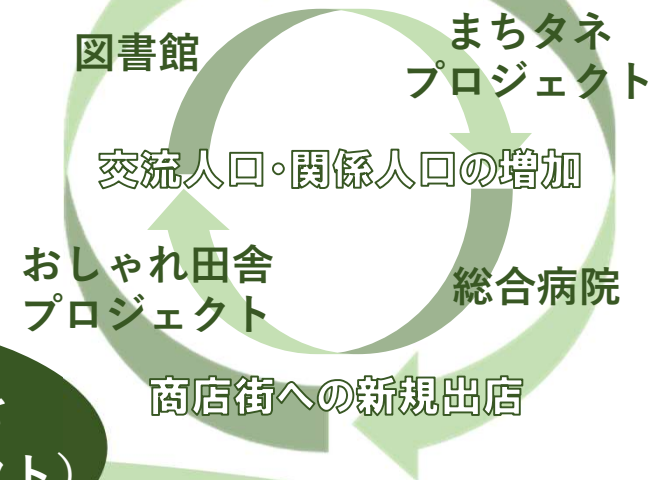
コンパクトシティ構想による拠点整備

公共的拠点（ハード）



相乗効果

移住者の増加



拠点間と人と人を つなぐ取り組み（ソフト）

まちタネプロジェクト・おしゃれ田舎プロジェクト
スタラス小諸など

民間企業・市民・行政が一体となった地域プラットフォーム

まちづくりは、人が“核”、面白い人・取り組みがさらに人を結び付ける！

6. 行政の企業誘致の取り組み



ウェルネスシティ 信州小諸

自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち

企業誘致

今までの企業誘致は、お宝を意識した誘致ができていなかった...

地理的なお宝（例えば水が良い、災害が少ない）を基に
市職員の企業リサーチ・**熱意ある営業**により特徴的な企業とのマッチングに成功！

(株) Greve.t

→ワイナリー・レストラン・ショップ
Park-PFIを活用

ハーバー(株) (化粧品製造)

→無添加化粧品の工場

HABA

軽井沢蒸留酒製造(株) (ウイスキー製造)

→世界品質のウイスキー製造工場



(株) S A J (洋菓子店)

→有名パティシエの焼き菓子工場

pâtisserie
Sadaharu AOKI

7. 産官学協働の取り組み



ウェルネスシティ 信州小諸

自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち

MaaS事業



スマートカート egg



EVバス「こもこむ号」

社会実験型サービス

- ①DXによる情報発信
- ②EVバスや電動カートによる新交通

市×事業構想大学院大学×(株)カクイチで事業を構想する所からスタート。

×

UR都市機構や多くの民間企業と連携。

まちたねプロジェクト



創造の遊び場



屋外映画観賞会



マルシェ



夏祭り

社会実験型広場

- ①市民のアイデアや想いで作る新たな公園
- ②若者や移住者の交流の場

8. 民間の創業支援・移住促進の取り組み



ウェルネスシティ 信州小諸

自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち



OSHARE
INAKA
PROJECT
Connection X KOMORO

PROJECT members (順次公開)



おしゃれ田舎プロジェクト

商人・移住者・行政マンの
民間プロジェクトチームが
移住創業を支援

お宝(古い建物)を活かした創業
視点の違う移住者は廃墟を魅力的なお店に



新規出店の増加
約30店舗!
(コロナ禍の3年間で)

事例①

元床屋



イタリアン
レストラン



事例②

元スナック



花屋&カフェ



9. 顕著に表れる取り組みの成果



ウェルネスシティ 信州小諸

自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち

◆ 過去6年半の小諸市人口増減

年	総人口 (1/1現在)	人口増減	自然増減数	社会増減数
2022 (1~6月)	40,788	▲10	▲147	137
2021	41,013	▲225	▲241	16
2020	41,381	▲241	▲259	18
2019	41,625	▲244	▲244	0
2018	41,802	▲177	▲207	30
2017	42,105	▲303	▲225	▲78
2016	42,462	▲357	▲221	▲136

(資料) 長野県「毎月人口異動調査」

2022年上半期に**大幅な社会増**に転じた！
年間では“人口増”の可能性もでてきた！

若い人達が増え、交流が活発化し、
“**化学反応**”が起き始めている。



10. ウェルビーイングの達成と広域への視点



ウェルネスシティ 信州小諸

自分らしく居られるまち、自分に選ばれるまち

地元住民があたりまえと思っている
地域資源が、実は他には無い魅力となっている。

“小諸だから選ばれる”

“小諸でなければできない”がカタチになりつつある。

市民が「小諸を知り、愛し、誇りに思い、行動する」
＝シビックプライドにつなげ、健康で生きがいを持ち、
安全・安心で豊かな人生を営み、自己実現をしていく
ウェルビーイングで元気な小諸市に！

ウェルネスサードプレイス構想

「あるモノは最大限活かし、広域で相乗的に増幅させる
また、ないモノは、広域で相互に補完する」という発想

広域全体として光り輝くと同時に構成する自治体それぞれが、より輝きを増す。相乗効果の繰り返しにより、
活力にあふれた地域へともに歩んでいく。

